

寝屋川市 自然を学ぶ会 会報

No.89 2022.6.20
発行 寝屋川市自然を学ぶ会
会長 山田 晃
事務局 寝屋川市高宮1丁目7-9
千田 正喜 宅
TEL 090-4036-0719



ヒサウチソウの観察 2022.5.5 淀川枚方地区

ひかる
わたしは だんだん
わからないことが多くなる

わからないことばかりになり
さらにさらに わからなくなり

工藤直子
ついに
ひかる とは これか と
はじめてのように 知る
花は
こんなに ひかるのか と
思う

工藤直子詩集「うたにあわせて あいうえお」岩崎書店

目次

- (2) あいさつ、総会報告
- (3) 自然観察会⑧ 私市植物園 自然観察会① 東部丘陵
- (4) 自然観察会② 淀川枚方地区の野草
- (5) みんなの掲示板 ①奈良大寺院のカタクリと又兵衛桜・②敦賀・中池見と池河内
- (6) みんなでつくる自然資料室だより ・子ども自然シリーズ講座
・大人自然シリーズ講座・自然資料室スタッフ研修会
- (7) 野外活動センターとの協働活動 ①自然観察と環境整備
センター行事への協力(森の探検・3園)
- (8) 参加・協力行事 高宮田んぼの楽校、図書館科学講座、寝屋川市環境フェア
- (9) 私の散歩道 私の香里ヶ丘自然散歩・今アジサイが美しい!!
- (10) 私の自然観察 身近な昆虫37身近にみられるゼフィルス
- (11) 自然はすばらしい 植物シリーズ37 フェデリンドウ
- (12) 自然界のふしぎ 火山のふしぎ① 軽石
- (13) 本の紹介・新会員紹介 「ハクセキレイのよる」
- (14) 行事予定 子ども自然シリーズ講座③④⑥
定例自然観察会 ③寝屋川 ④四條畷下田原
みんなの掲示板 ③伊吹山・山室湿原

□総会・20周年記念行事から

「自然はおもしろい」をより豊かに、より楽しく

～発足20年を振り返り、これからの活動を考える～

山田 晃

◇強い雨の中、3年ぶりの総会!!

～2022年度の活動計画が決まりました～

4月29日(祝)3年ぶりの総会を開催いたしました。続いて3年ぶりに20周年記念の行事も実施することができました。朝から強い雨が降る中、37名もの方がご出席いただきました。

まず2022年度の総会では、2021年度の活動報告・会計報告のあと2022年度の新役員の選出、活動計画、予算計画等承認をいただきました。すでにお届けした資料の通りです。

今年度も定例自然観察会を軸に、身近な『自然はおもしろい』をより豊かにより楽しく進めて



いきたいと思います。そのために、会報の発行や展示会を継続して開催してまいります。そして更に他団体や関係機関とも連携して幅広く活動を進めたいと考えています。

◇続いて20周年記念行事を実施

総会に引き続き20周年記念行事を実施しました。本会は平成12年4月発足以来、今年度で23年目を迎えます。一昨年発足20周年記念事業として次のような活動を実施してきました。

- ・会報20周年記念特集号の発行
- ・身近な自然ガイドブック「新版 秋のどんぐり木の実木の葉」本編・資料編の発行
- ・会報 シリーズ記事まとめ集『自然はおもしろい』の発行

この記念事業に関わっていただいた渡辺俊之さん、木村雅行さん、本多政雄さん、西村壽雄さんからそれぞれ関わった内容を軸に楽しく興味ある話を語っていただき、本会のこれからの活動について考える方向を示していただきました。

会報「20周年記念特集号」の中で足立 堯さんが次のように記されています。

20年間の活動を土台に、これからも自然観察を通して個々の生き物に親しみを持ち続けましょう。その中で自然をどうい
う視点で観るかということ学ぶことで自然のしくみや生命の
営みを理解することが大切です。そしてお互いに自然環境を保
全する意識を高めることが本会の担う役割ではないでしょ
うか。

引き続き本会の更なる充実発展を願って、会員の皆さんの活動に期待いたします。



ユウゲショウ

2022年度の活動は進みます。会員の皆さんの「自然はおもしろい」の巾を少しずつ広げて下さい。そのために20周年記念の会報特別号、ガイドブック(資料編も)、シリーズ記事まとめ集の頁を繰って見てください。きっと「自然はおもしろい」が見つかりますから。

第8回自然観察会 私市植物園

3月21日(祝・月)

参加者39名

山野草のカタクリ、キクザキイチゲは見ごろでした

本多 政雄

昨年度最後の観察会は朝のうちは曇り空でしたが、日中は晴天の観察会日和になり39名の参加者がありました。例年観察会を3月の最終日曜日に実施としていましたが、近年春の訪れが早くなっているため今年も1週早めて行いました。

山野草は見ごろになりましたが、桜類のエドヒガンやコヒガン、ヤエベニシダレなどには早すぎてつぼみが堅かったです。河津桜、オオカンザクラ、キンキマメザクラは見ごろでした。

3月15日(火)に実施した下見の時点で山野草の花はカタクリ、ミスミソウ、キクザキイチゲが見ごろでした。花木の花はウメ類、オガタマノキ、マンサク類、イヌガシ、ウグイスカグラなどのほかは少し早いようでした。

観察会当日見ごろだった花木は河津桜、オオカンザクラ、キンキマメザクラ、トサミズキ、ヒュウガミズキ、サンシュユ、ウグイスカグラ、ヤマウグイスカグラ、アブラチャン、ダンコウバイ、イヌガシ、ツノハシバミ、コブシ、ハナノキ、シナマンサク、アセビ、ヒサカキ、椿類・・・。

山野草はノウルシ(つぼみ)、カタクリ、キクザキイチゲ、ミスミソウ(終わりごろ)、イカリソウ、セントウソウ、キクバオウレン(果実)。終わりは少し予定をオーバーして12時15分ごろになりました。イヌガシはクスノキの仲間では紅色の花をつける珍しい樹木です(紙面では色がなくて残念)。



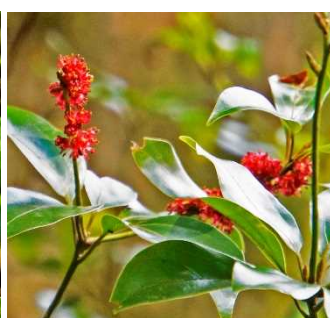
キクバオウレン



ミスミソウ



カタクリ



イヌガシ

第1回自然観察会

東部丘陵<春の里山>

4月26日(火)

参加者14名

雨模様の中でしたが 楽しい観察ができました

田中 英明

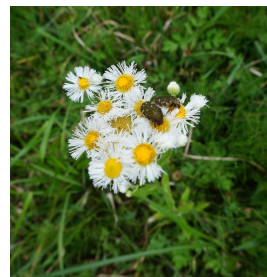


観察の様子

朝から今にも降り出しそうな雲行きです。集合場所に着くと嬉しいことに、こんな天気にかかわらず初参加の方も2人おられました。また、「枚方いきもの調査会」の方からはいろいろと教えて頂きました。あいにくの天気なので、打上神社展望台から下った打上公園で右折し、駅に向かいました。楽しい半日を過ごさせて頂きました。

観察できた中で、記憶に残っているのを順路に従って記載しておきます。

アメリカオニアザミ、シマトネリコ、イヌマキ、ヒラドツツジ、ウンナンオウバイ、セイヨウザイフリボク(ジュンベリー)、ツタバウンラン、ペラペラヨメナ、イチョウ、オヤブジラミ、ヒョドリジョウゴ、イタドリ、カラムシ、ノアザミ、ハルジオン、クララ、アキカラマツ、ツブラジイ自然林、アカネ、アベマキ、サカキ、アラカシ、コナラ、カナメモチ、クスノキ、シャンシャンボなどでした。



ハルジオン

第2回自然観察会 淀川の枚方地区<春の野草・昆虫> 5月5日(祝・木) 参加者48名

淀川の春は高原のお花畑を歩くがごとく素晴らしいです 本多 政雄

春の淀川自然観察会は枚方～磯嶋地域で行いました。2019年に太間～出口地域観察会を実施してから2年間観察会が実施できなかったのが、枚方地域での実施は6年ぶりになります。6年たつと状況はかなり変わっていました。枚方地域だけに見られたナヨクサフジは今はどの地域でも見られるし、淀川に流れ込む支流の河川にも普通に見られるようになりました。

今年は4月29日に自然を学ぶ会の総会が計画されていたのでその準備もあり、観察会の下見会ができないので、30日に私だけで行いました。ムラサキサギゴケ、ニワゼキショウ類の成長が遅く、ほとんど目につきませんでした。

5月5日(祝こどもの日)は朝から日照が明るい晴天の観察日和になりました。参加者48名で子どもさんの参加も多いので、観察会に初めて参加する方、経験者、ベテランと3班に分割し、9時45分観察を開始しました。植物の成長は早いです。下見の時は見られなかったシロバナマンテマ、ノミノツヅリ、ムラサキサギゴケ、ニワゼキショウ類、セイヨウヒキヨモギなどが見られました。

ウマゴヤシ、アメリカフウロ、コバンソウ、カラスムギ、セイヨウヒキヨモギ、シロバナマンテマ、ギンドロ、ポプラ、オオジシバリなどが見られた枚方地域から上手へ移動します。天野川付近でシナサワグルミ、ハリエンジュ(ニセアカシア)、ノイバラ、シャクチリソバを見て磯嶋地域へ移動します。ここではアゼナルコ、オヘビイチゴ、ニガナ、ムラサキサギゴケ、ニワゼキショウ類、一番上手でヒサウチソウ、オドリコソウを見ました。30日の下見では花のあるヒサウチソウは1株でしたが観察会では5株咲いていました。観察会参加の皆さんが熱心だったので予定の時間を少しオーバーしました。今日の行程は約4^キ。12時15分頃に集合地にもどりました。

春～初夏に枚方地域で見られる植物は種類が多くなかなか覚えられませんが、それぞれの植物と人の生活とのかかわり、食用になるか、薬効成分があるか、農業とのかかわりがあるか、生活に有用か有害か・・・などを知ることにより植物の特徴がわかってきます。同時に植物を見る視野が広がり興味が増してきます。急がないでゆっくり続けましょう。以下は今回の観察会で記録した写真です。



ウマゴヤシ



コバンソウ



シナサワグルミ



ヒサウチソウ



シロバナマンテマ



ハリエンジュ



ムラサキサギゴケ



アゼナルコ

春の陽気に誘われて

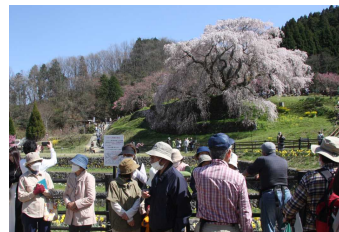
中村 清秀



観察の様子

春の陽光が眩しいくらいの中、19名の参加者でいざ奈良大宇陀へ。バス内では香酔山のみもとに群生するスズランの里の紹介があり、来年は行ってみたいと思いました。

森野薬草園で早々にカタクリの観察、特に白いカタクリは何万分之一かですら出るので、ここでも1株見つけました。皆さんに幸せが来ますように。



又兵衛桜

若いお兄さんが薬草の特徴など色々説明をくださり、後で森野家15代目当主『藤助さん』と聞きビックリ。近くのかぎろひの丘万葉公園で昼食。ここでは白いタンポポを見つけました。又兵衛桜は、さすが西の横綱と言われるだけあって見事な咲きっぷりでした。帰路の途中、宇陀川の堤防の桜並木で小休憩、つくしやノビルなど摘んでる人もいました。

春の陽気に誘われて、ワイワイとにぎやかで、まるでピクニックに来たような気分させてくれた観察会となりました。

自然っていいな

中村 清秀



観察の様子

3年ぶりの「中池見湿地」で23名の参加者とともに寝屋川市駅前を出発。

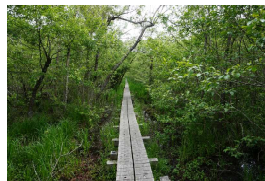
中池見の檜曲駐車場は北陸新幹線の工事真っ最中の橋脚の真下にありビックリ。遊歩道の入口で早々にカワトンボが迎えてくれました。道端の左右にタチツボスミレ、ミズタバコ、マムシグサ、大きなヤブレガサや、白い花を付けたシラユキゲシ等々。

健脚コースではハンショウヅル、タニウツギ、キンランなどにシカも出現。ゆったりコースでは3年前に観られたタニギキョウが見

つけられず、代わりに、途中の池でモリアオガエルの卵塊を発見しました。ビジターセンターで昼食後、この卵塊を触りに行った人、デンジソウを観に行く人、網でトノサマガエルを追いかける人など、自然は好奇心を呼ぶものだと感心しました。

池河内湿原では完成した木道のまわりにはカキツバタが。休憩した駐車場ではウスバシロチョウが迎えてくれ、ツリバナ、ヒトツバカエデ、ハナイカダも見つけました。

曇っていたせいかなそんなに暑くもなく、皆さんの好奇心を満たし、しっかりと観察ができた「みんなの掲示板」になったのではないのでしょうか。



池河内湿原

モリアオガエルの卵塊にびっくり! (参加者の感想)

上野 裕俊

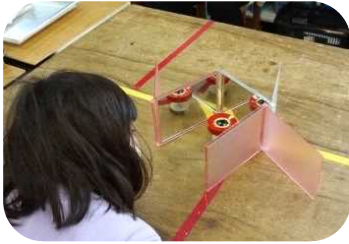
黄金色の麦と水田が広がる高速の先が中池見湿地。いただいた資料は、先生方との楽しい時と空気を演出してくれました。ビジターセンター前の湿地には滅多に出会えなくなったドジョウ、みたことない様な大きなタニシ(センターへ確認するとオオタニシとのこと)を見つけます。貸してもらえる網でトノサマガエルをゲット。すばしっこさに、数十年ぶりに頑張りました。蒲穂も沢山、ニギってみたけれど時期が違うのか、風によってくれません、残念。モリアオガエルの卵塊にびっくり。池河内湿地ではワラビ、ゼンマイそしてイモリに数年ぶりに出会います。遊歩道を彩るカキツバタはこれからが本番のよう。スタッフの方々有難うございました。

みんなで作る自然資料室だより

◇子ども自然シリーズ講座

①水万華鏡を作ろう 5月21日(土) 参加者22名(内子ども8名)

3人が一つのテーブルに着き、一つのコマと自分の持っている鏡を工夫して、たくさんのコマを見つけます。他の班から「3つ見えた」と聞こえたら、「私のところは10個も見えたで」と競争です。コマをスティックのりにかへても確かめました。次に、水万華鏡作りです。袋に入った中身を確認して、講師の寺西さんの説明を聞きながら進めました。ホースに水のりを入れるのはスタッフが手伝いました。のぞき穴から見て「わあー花火みたい」と言って、近くのお母さんに見せている子が印象的でした。どの子ども、出来栄えにすごく満足していました。



コマが10個も見えた!

◇大人自然シリーズ講座

①春の野草ウォッチング

4月21日(木) 参加者25名

今年度最初の大人シリーズです。後日実施する「東部丘陵」と「淀川の自然観察」の行事の前知識としての講座です。講師の本多さんから、植物の花序・葉の付き方、果実の用語についての説明がありました。その後、淀川枚方地域の自然観察マップをもとに、一つ一ついねいに花の特徴、見どころなどのお話でした。実際に野草を観察するのが楽しみな講座でした。



淀川枚方地域では?

②木の花ウォッチング

5月12日(木) 参加者24名

はじめに、皆さんが知っている樹木の名前を聞きだし、「なぜ人は花が好きなのか？」などと聞きながら進められました。また、美しい木の花の例として、三大花木・三大香木などの映像も見ました。最後は、講師の杉本さんがいつも行っておられる寝屋川公園の木の花の紹介です。花の見ごろを中心に場所の紹介もあり、受講生は聞きながら相槌を打っておられました。



寝屋川公園では?

◇自然資料室スタッフ研修会

「大阪市立科学館」 ～館内見学とプラネタリウム～ 6月10日(金) 参加者17名

午前は4階から2階までの展示室を自由に見学し、遊びながら装置を動かして科学の不思議さに気づきました。午後からのプラネタリウムでは、今夜の星空(星座)と流星群についての話でした。また、科学館の「花火の科学」というサイエンスショーは、美しい色を生み出す炎色反応などの実験で楽しかったです。



館内では?

野外活動センターとの協働活動

◇第1回自然観察と環境整備

6月7日(火)

協力者21名



階段のそうじや草刈り

野活での初めての行事で、21名ものたくさんの参加がありました。散策路の枝を払ったりして路の整備、ホテル広場への階段そうじや草抜き、ホテル広場や川岸の草刈り、樹木の名札付け30枚、食事係に分かれて作業をしました。思ったほど暑くはありませんでしたが、作業にひと汗かきました。

昼食はパプリカ・ナスニンジン・ズッキーニ等が入ったコーヒーカレーと野菜サラダにメロンと豪華でした。おかわりもでき満足。



勉強会

午後は森の探検へ。アオダイショウにも遭遇。奥の森の広場ではニガイチゴを食べました。戻ってきて、勉強会。山田さんより野活の歴史の話聞き「そうだったのか」と。次に高本さんより今回の会報に掲載されているシジミチョウの話とアリジゴクの話がありました。アリジゴクの丸い繭を初めて見て感動しました。また、巣穴にアリを落としたりしてアリジゴクの動きを観察しました。

◇野外活動センター行事への協力

成美の森こども園

5月24日(火) 園児49名
(年中・年長で2部に分けて)
協力者3名・スタッフ1名



とんぼがいたよ!

めぐみ幼稚園

5月25日(水) 園児28名
(年長)
協力者4名・スタッフ1名



どんぐりペンダントできた!

寝屋の森こども園

5月26日(木) 園児28名
(年中・年長)
協力者4名・スタッフ1名



ステゴサウルス

3年ぶりの園児への協力活動。各園によって内容は少しずつ違うところはありませんでしたが、アリジゴクの観察、アラカシの葉の恐竜づくり、オオバコの草相撲、寒谷池、森の広場で鳥の鳴き声の観察、モミジの実のプロペラ遊びなど、森の自然を楽しみました。トンボを捕まえる子、ヘビイチゴを採る子、虫を探す子など。最後の感想では「山の中を歩いて楽しかった」「ステゴサウルスがおもしろかった」等楽しい話がいっぱいありました。どんぐりペンダントのおみやげに大喜びでした。

終わった後も、楽しかったなという声が聞こえてよかったです。

参加・協力行事

◇高宮田んぼの楽校

4月22日(金) 協力者9名 地元6名

東小学校の2年生(109名)を対象にしたレンゲソウ畑での自然観察会が3年ぶりに開かれました。「高宮地区の農地の今後を考える会」が企画し本会が協力しました。田んぼの野草やレンゲソウとミツバチの話を書いたあと、クラスごとに分かれて田んぼに入りました。9種類の野草を見つけるビンゴをしたり、花を摘んで首飾り作りに挑戦したり、草笛に挑戦したり、虫を観察したり、カエルを追いかけたりして、自然を思いっきり楽しんでいました。虫が怖くて田んぼに入れなかった子が、入れるようになりました。「楽しかった」



ビンゴになるかな?

「草笛が鳴ってよかった」「ビンゴができてよかった」など楽しい感想が聞かれました。おみやげに、四つ葉のクローバーが入ったしおりをもらって大喜びでした。

◇図書館科学講座

「やじろべえのふしぎ」 5月28日(土) 参加者30名(内子ども13名)

つり合い人形とも呼ばれているやじろべえを、いろいろ楽しく実験しながらうまく立つしくみについて調べていきます。講師の西村さんが多くの資料をもとにいていねいに進めていかれました。子どもたちは、3種類の発泡スチロールの球に針金をさして、どうしたらうまく立つか確かめます。最初は小さい球で。そして大きな球。針金の支点の位置を変えてみたりして、楽しみながらグループの友だちの様子を見ながら、自分で考えてうまく立つ方法を見つけていきました。最後に、紙を切った鳥のバランスとどぐりを使ったやじろべえを作りました。終わってからもどぐりのやじろべえを持って楽しそうに歩き回っていました。



うまく立つかな?

◇寝屋川市環境フェア

6月12日(日) 参加者150名 協力者18名



親子でどんぐり工作

3年ぶりに中央小学校で環境フェアが開催されました。本会からは、パネル展示と手作りコーナー(キャップのブンブンゴマ、どんぐりペンダント、どんぐり工作)で参加しました。暖かくて晴天に恵まれ親子連れの方々が午前中を中心に、にぎわいました。ブンブンゴマでは、タイミングよく上手に回して得意気でした。どんぐり工作では、「どうしようかなあ」と戸惑っていた子が次々と木の実やどんぐりなどを接着し満足していました。

私の散歩道

新型コロナウイルスの感染者が減少気味とはいえ、まだ安心してマスクを外して出歩こうとは思いませんが、熱中症には気をつけて自分流の散歩を続けていきたいと思います。また、今回も会報に寄せていただきました「私の散歩道」を楽しんでください。

『私の香里ヶ丘自然散歩』

栗田 泰子

香里ヶ丘は枚方の市街地ですが、団地造成時に地形を生かし法面を温存したため今でも湧水と緑があり、激減したとはいえ湿地の植物や在来種、絶滅危惧種もまだ残っています。シュンラン、コケリンドウ、スマレ、カンサイタンポポ、クロバイ、ナツハゼ、ザイフリボク、クサボケ、マルバアオダモ、ヒメハギ、ネジキ、タツナミソウ、コウガイゼキショウ、ゴウソ、イヌクグ、クサレダマ、ハタガヤ、チガヤ、オオヒヨドリバナ、ツルボ、ネジバナ、ススキ、オガルカヤ、メガルカヤ、ツリガネニンジン、ワレモコウ、シャシャンボ、シイなど四季折々に何かしら花が咲き、実を結び、渡りの季節にはヒドリガモ、トラツグミ、ツグミ、シロハラ、オオルリ、キビタキなど、留鳥ではカワセミ、メジロ、シジュウカラ、ヤマガラ、コゲラ、エナガなど、そしてキノコや昆虫、コケが観察できる香里ヶ丘は、いつまでも残って欲しい自然散歩コースです。



ヒメハギ



カンサイタンポポ



カワセミ



コゲラ

今！アジサイが美しい！ ～梅雨時を彩る鮮やかな花～

渡辺 俊之

私の家から歩いて5分ぐらいの所に「成田公園」があります。第五小学校の西側で池があり、その池をとり巻くような公園です。公園内の散策道に沿って、今魅力あふれるアジサイが満開です。純白色、青色、青紫色、赤色、ピンク色…等々、どの花も華やかな色で咲いています。しかも数日すると、それぞれの色に変化していきます。色の変化を見るのも楽しみの一つです。また、ふんわり咲く手まり咲きや額のような咲き方など両方の姿が混じり合って風情があります。



公園のアジサイ



ガクアジサイ

公園に行く途中の家々の玄関まわりのアジサイも見事ですし、近くの花屋の店頭もアジサイにあふれ、一鉢4000円以上するすぐれものもありました。あちこちでいろんなアジサイに出会うたびに育てたい思いが強くなります。今年も昨年に続いて挿し木で殖やしたいと思います。

私の自然観察

身近な昆虫 37.

身近にみられるゼフィルス

—アカシジミとミズイロオナガシジミ—

高本 憲二

まだ6月に入ったばかりだというのにこの暑さといったらすっかり夏です。先日、岡山県笠岡市にある実家の庭と畑でアカシジミとミズイロオナガシジミに出会いました。これらのシジミチョウはゼフィルス (Zephyrus) と呼ばれるミドリシジミ族に属する、樹上性のチョウの仲間です。ゼフィルスの仲間は日本には25種が生息していて、年1回初夏から盛夏にかけて出現し、樹上をすみかとして卵で越冬します。樹上性ということもありほとんどがなかなか出会う機会がありません。でもここで紹介するアカシジミとミズイロオナガシジミは寝屋川市近郊でもわりと身近に見ることができます。

アカシジミ : *Japonica lutea* チョウ目シジミチョウ科 食草: コナラ、ミズナラ、ナラガシワ、クヌギ、アベマキ、アラカシ、ウラジロガシなど (ブナ科)



2018年 寝屋川市野外活動センター

5月中旬～7月下旬に寝屋川公園の林縁や室池園地周辺で見ることができます。午前中に室池園地の遊歩道を歩くと林縁の下草の上にとまっている姿が見られます。橙色の翅に銀白色の細帯があるきれいなチョウです。

「日本のチョウ」によれば、「平地～山地の落葉広葉樹林に生息し、一部カシ類の生える照葉樹林でも見られる。二次林～原生林まで多様な環境に適応しており、食草があれば都市近郊でも普通に見られる」とあります。

ミズイロオナガシジミ : *Antigius attilia* チョウ目シジミチョウ科 食草: クヌギ、カシワ、ミズナラ、コナラ、ナラガシワなど (ブナ科)



2017年 私市植物園

毎年5月中旬になるとほしだ園地にミズイロオナガシジミに合いに出かけます。今年も5月8日に出かけましたが早すぎたのか空振りに終わりました。灰白色にV字状の黒帯のあるかわいいチョウです。

「日本のチョウ」によれば、「平地～山地の落葉広葉樹林。一定面積の樹林があれば、市街地の公園でも普通に見られる。」とあります。暑い時期ですが、近郊の園地を訪れる機会がありましたら、林縁の下草の上を探してみてください。きっと、かわいいゼフィルスに出

会うことができるでしょう。ゼフィルスの語源はギリシャ神話に登場する西風の神様のことで、春と初夏のそよ風を運んでくれる温和な神様だそうです。

自然はすばらしい 植物シリーズ 37. フデリンドウ 花期 4～5月

近年生育地が急速に減少している

本多 政雄

リンドウ科、リンドウ属、フデリンドウ (*Gentiana zollingeri*)

山野の日当たりのよいところに生える高さ 6～9 ㍎の 2 年生草本。葉は対生し、茎葉は広卵形で全縁、質はやや厚めで、葉裏面がしばしば赤紫色を帯びる。根生葉は小さくロゼット状にはならない。

花期は 4～5 月、長さ 2～2.5 ㍎で漏斗（ろうと）状の青紫色の花を茎の上部に 1～10 数個上向きにつける。花は日が当たっている時だけ開き、曇天、雨天時は筆先の形をしたつぼみ状態になって閉じている。

今回は 5 月の 4 日（みどりの日）に奈良県天川村のみたらい溪谷へ行く機会があり、春のみたらい溪谷は初めてなので期待して行きました。途中の黒滝村道の駅で名物串刺しこんにゃくの醤油煮を食べましたが、長い行列に並んでやっと買えました。

ヘヤーピンカーブを何回も通り、やっとみたらい溪谷駐車場に着きましたが満車です。仕方がないので少し離れた天川村役場の駐車場に車を止め、天の川（弥山川＝みせんがわ）岸を歩いていると橋の入り口に「みたらい溪谷入口」の案内があったので、そこから河岸路へ入ってみました。少し歩いているうちに以前歩いたルートとは違うことがわかりましたが、周りの植物が珍しくそのまま歩くことにしました。

最初に目についたのはムラサキケマン、アカネ、クジャクシダ、マムシグサ。やがてイワタバコ、ミヤマカタバミ、ジュウモンジシダ、ヤマフジの花に見とれてふと足元を見ると小さなフデリンドウが咲いていました。自生地でフデリンドウを見たのは初めてだったので少し興奮し、足元に注意しながら歩きました。フデリンドウは点々と見られましたが、群生はしていません。帰宅後フデリンドウについて調べて次のようなことがわかりました。



バコ、ミヤマカタバミ、ジュウモンジシダ、ヤマフジの花に見とれてふと足元を見ると小さなフデリンドウが咲いていました。自生地でフデリンドウを見たのは初めてだったので少し興奮し、足元に注意しながら歩きました。フデリンドウは点々と見られましたが、群生はしていません。帰宅後フデリンドウについて調べて次のようなことがわかりました。

生育地 山地の林内や日当たりの良い、やや乾いた草原に自生するが、発芽率があまりよくなく、近年急速に減少しており、特定の場所で見ることができません。

花色と形 青色と紫色の 2 種類あり、花卉の先が長く 5 裂している部分と、短く 5 裂している部分があります。

花言葉 「高貴」と「誠実」があり、「高貴」は紫色のリンドウ、「誠実」は青色のリンドウにつけられています。紫は古代の冠位十二階において最高位とされている色であることから、高貴の象徴とされているため「高貴」という花言葉が付けられました。青のクールなイメージと天空に向かって真っすぐに咲くフデリンドウにちなんで実直を意味する「誠実」という花言葉が付けられました。花言葉に明るい意味があるのでプレゼントに適しているかもしれませんね。でも、取らないでね。

春に咲くリンドウのなかまにハルリンドウがありますが、生育環境が湿り気のある樹林地であることや、冬季にロゼット状になることなどの違いがあり区別は容易です。

自然界のふしぎ

自然界の不思議やその仕組みに迫るために前回の「ダーウィンと化石1～4」に続いて、今年度は「火山のふしぎ」をお届けします。

火山のふしぎ ① 軽石

西村 寿雄

今年度は火山が作り出すさまざまな現象を見ていきたいと思います。まず初めに最近話題になった軽石です。火山が噴火するとふつう噴煙の他に、溶岩や軽石、火山灰が出ます。今回、太平洋上の海底火山噴火から出た軽石が沖縄県あたりまで大量に流れ着いて美しい海岸をだいなしにしました。離島を結ぶ船舶も漁船も港から出ることが出来ず大問題になりました。

第1回目はその軽石についてです。

沖縄にたどり着いた軽石は、太平洋上の小笠原諸島近くの海底が噴火して出来たものです。沖縄に漂着したこの軽石についての問題です。

この軽石は海水にはずっと浮いていますが、真水では浮くでしょうか。

比較のため阿蘇山にあった軽石を同時に水につけました。阿蘇山にあった軽石は浮くものもありますが、数分、数時間たつと沈みました。そのため、私は「軽石は水に沈むもの」と思っていました。それで、今回の軽石漂着に「あれ!」と思いました。

みなさんは、どう思われましたか。

やってみると漂着した軽石は真水でも浮きました。

今度は、ほぼ同じ大きさの漂着軽石と阿蘇の軽石の重さを測ってみました。するとほぼ 2cm×1cm の漂着軽石 2.7g 阿蘇の軽石 1.5g で、明らかに漂着軽石は阿蘇の軽石より重いのです。漂着軽石は少し重いのにも真水にも浮きました。一ヶ月ほど水につけたままでも浮いたままです。この現象はどうみたらいいのでしょうか。



阿蘇周辺軽石

沖縄沖の軽石

一つ考えられるのは、漂着軽石は東京よりはるか南の海底噴火による軽石という事です。水中爆発が多いので鉱物の結晶は急冷されます。鉱物は急冷するとガラスになるのです。ガラスになると、中に閉じ込められていた火山ガスは閉じ込められたまま固まってしまう。中に空気が入ったまま軽石が固まると軽石は自分の重さより軽くなってしまい、いつまでも海水に浮いているのではないのでしょうか。

急冷した石に黒曜石こくようせきがあります。ガラスのような石です。この石は、海底生まれの石ではありませんが、火山カルデラ内の淡水にふれたためと言われています。やはり、水中では多くの石は急冷するのですね。

次は火山から出る石について話してみましよう。

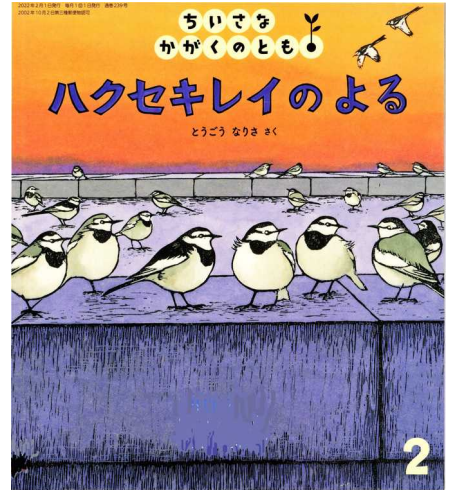
図書紹介

～こんな本が出たよ～

『ハクセキレイの よる』(ちいさながぐくのとも 2月)

とうごう なりさ/さく 福音館書店

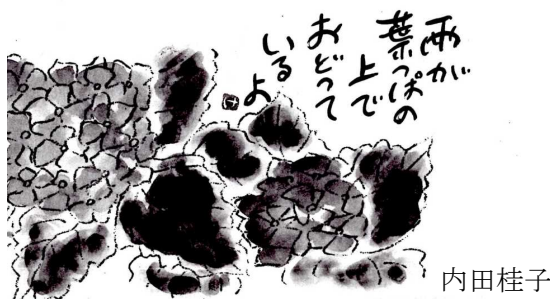
付属の解説によると、ハクセキレイは東北地方とか北海道で繁殖していたそうだが今は本州各地でもよく見かける鳥である。スズメより少し大きくて都会でも路上などでよく見かける。長い尾を上下にふりちょこちょこと歩く姿の鳥はたいていハクセキレイだ。顔は白く眼の前後に一筋の黒い線が見られるのが特徴だ。この鳥はたいてい昼は単独で飛び跳ねているが、夜になると集団で大きな木の中に潜りこんで〈ねぐら〉をつくるという。そのハクセキレイの昼から夜にかけての行動がこの本では描かれている。絵にも特徴があり、著者によると、リノリュウム版画を彫って仕上げたという。白黒の鳥の姿を浮き立たせる工夫が凝らされている。



本では、まず都会のコンクリートビルの屋上場面から始まる。単独で飛び回っていた一匹がまず屋上の端に止まる。すると、やがて2羽、3羽・・・とどこからともなく集まってくる。しばらくすると10羽、20羽・・・絵本では50羽ぐらい描かれている。ビル近くの木に直接入らないで、いったんビルの屋上に集合するところが面白い。ビル近くのように人通りも多い所の木が寝るのに安心なのか。あたりが暗くなる頃にはみんなビルから近くの木に移り終わる。ふだん何げなく見ているだけでは、ハクセキレイにこんな習性があることには気づきにくい。スズメが木に集まっているのはよく見かけるがハクセキレイは見たことはない。いや、気づいていないだけなのか。夜になるとお互いまん丸くくるまって眠りにつく絵が描かれている。まだ、横をバスが通っている通りなのにかえって安心なのか。夜、北風が吹いてきてもしっかりと枝にしがみついている。朝が来ると、1羽、2羽・・・とまたどこかへ飛んでいく。白、黒、強調された絵がとっても効果的だ。今後、注意して街散歩を楽しみたい。

2022年2月 400円 <西村 寿雄>

絵手紙紹介



新会員紹介
 会員数175名
 (6月20日現在)
 上枝美津江
 大嶋眞砂代
 黄村泳善
 (敬称略)

行事予定

□第3回定例自然観察会

寝屋川の自然観察 ～水生生物～

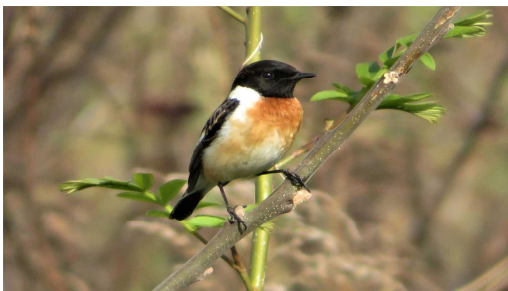
- ◇日時：2022年7月3日(日)
9:30～12:00 雨天中止
- ◇集合：寝屋川市役所玄関前 9時15分
又は直接活動場所へ 9時30分
寝屋川市環境総務課と共催です。
- *詳しくは連絡資料①をご覧ください。

□第4回定例自然観察会

四條畷下田原の自然観察

～里山・樹木、野草、きのこ～

- ◇日時：2022年9月23日(祝・金)
9:30～12:00 雨天中止
- ◇集合：飯盛霊園バス停 9時30分
- *詳しくは連絡資料②をご覧ください。

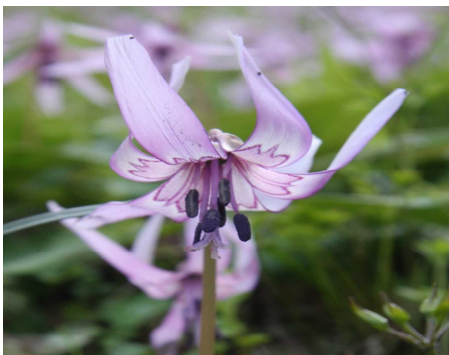


ノビタキ 点野野草地区

□第3回みんなの掲示板

伊吹山・山室湿原

- ◇日時：2022年8月23日(火)
7:30～18:30 雨天中止
- ◇集合：アルカスホール前 7:30
- ◇参加費：6,000円程度 定員25名
- ◇参加申し込み：8月15日までに下記へ
中村090-8750-5738 千田090-4036-0719
- *マイクロバスを利用します。



ハンショウズル 中池見湿地

子ども自然列-入*講座

<第3回>

「夏休み自由研究のヒント」その1

- ◇日時：7月16日(土) 10:00～12:00
- ◇参加対象：小学校1～3年生 15名
- ◇プログラム
 - ①「生きもの大好き」
 - ②「動くおもちゃ」
 - 夏休みの自由研究のヒント～こんな本があるよ～

<第4回>

「夏休み自由研究のヒント」その2

- ◇日時：7月17日(日) 10:00～12:00
- ◇参加対象：小学校4～6年生 15名
- ◇プログラム
 - ①「木の実・草の実のふしぎ」
 - ②「一弦琴を作ろう」
 - ③「写真立てを作ろう」
 - 夏休みの自由研究のヒント～こんな本があるよ～

<第6回>

「おもしろ科学実験」

～楽しいお話と実験～

- ◇日時：8月6日(土) 10:00～12:00
- ◇参加対象：小・中学生 15名

会場：自然体験学習室 Tel 072-839-6882

中央図書館西分室内

申込：7月2日(土)より 各会先着順 15名
直接又は電話で自然体験学習室へ

~~~~~ 編集後記 ~~~~~  
コロナが少しずつ収束し、久しぶりにこの春は予定通り活動が進みました。

子どもたちを含め多くの参加者があり、楽しく興味深い活動を継続することができました。それぞれの記録をご参照ください。

今年度もシリーズ記事3篇と会員の皆さんからの寄稿による「私の散歩道」も続きます。記事を参考に自然観察をより楽しく進めましょう。

~~~~~